

即ち北方ヒンヅクーシュー山脈と其の南方にあつて之れよりも低からぬコヒバ
バ Koh-i-Bâbâ 山脈との間に挟まれた小谿谷の孤立状態などに就て記述する所
一つとして正確ならざるなしである。冬季嚴寒の爲春至るを待つて麥を播く
と言つたことも正確である(同地の標高は實に二五〇〇米突を越えて居る)。地
味豊かならず花や果實に乏しく、牧場多く家畜に富むと言つたことも正確で
ある。又、數多の洞窟及び北方斷崖の中腹に刻まれた二大彫像に關する記述
など、要するに交通頻繁を極める通商街道の傍にあつて、隅然地質の有利な
お蔭で、此の僻地に面影を留め、燦然旅客の目をも眩ました往時を偲ばせる
其の靈域全般に互る記述など、孰れも正確を極めたものである。法師の測定
によると、此の佛像の高さは、一つは百四十尺乃至百五十尺、他は約百尺と
なつてゐるが、此の見積りは寧ろ控目に過ぎたもので、實際は五十三米突と
三十五米突である。兩者の中小さき像を包む金屬的の外皮(現存せず)の外觀的
性質に誤られて、法師は是等の佛像が數多の鑄造斷片を以て成ると想像して
居る。それは實驗か又は案内者の言葉に依てさう信じたのか、孰れにせよ、唯